製品名: IRS1 (17G5) ウサギモノクローナル抗体
カタログ番号: AMRe12758
研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.28mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20℃で保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4℃、長期保存は-20℃で保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:20-1:50,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:20-1:50
分子量	132kDa

抗原情報

遺伝子名	IRS1
別名	HIRS1; Insulin receptor substrate 1; IRS 1; IRS1;
遺伝子 ID	3667.0
SwissProt ID	P35568
免疫原	ヒト IRS1 の合成ペプチド

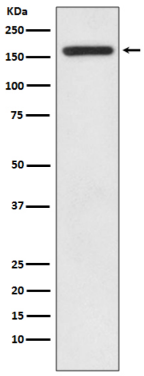
背景

IRS1 は、インスリン受容体キナーゼの主要な基質の一つです。インスリンによる様々な細胞プロセスの制御を媒介する可能性があります。インスリン受容体によってリン酸化されると、ホスファチジルイノシトール 3 キナーゼ p85 サブユニットや GRB2 などの SH2 ドメインを含む様々な細胞タンパク質に特異的に結合します。インスリンによる様々な細胞プロセスの制御を媒介する可能性があります。インスリン受容体によってリン酸化されると、ホスファチジルイノシトール 3 キナーゼ p85 サブユニットや GRB2 などの SH2 ドメインを含む様々な細胞タンパク質に特異的に結合します。調節性 p85 サブユニットに結合すると、ホスファチジルイノシトール 3 キナーゼを活性化します（類似性による）。

研究分野

-

画像データ



HEK293 細胞溶解物における IRS1 発現のウェスタン ブロット解析。